

2023年6月19日

各 位

コーユーレンティア株式会社

## 主要トラックの配送時に排出される「CO<sub>2</sub>のカーボンオフセット」実施について

コーユーレンティア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 梅木 孝治、以下「コーユーレンティア」）は、サステナビリティ委員会（委員長は当社取締役 長田 朋久）の決定をもとに、地球温暖化対策への貢献と、レンタルサービスの価値向上を目的として、当社の主要なトラックが配送時に排出するCO<sub>2</sub>について、カーボンオフセットを実施致します。

### 記

#### 1. カーボンオフセットを開始する経緯

地球温暖化への対策が急務である昨今、当社の主要サービスであるレンタルサービスは温室効果ガスの排出が少なく、環境負荷の少ない循環型事業であると考えています。

また2022年にはマテリアリティを策定し、事業活動においても脱炭素に向けて取り組んでおります。

その一方で、レンタルサービスにおいて、トラックによる輸送の際に排出される温室効果ガスがレンタルの温室効果ガス抑制効果を相殺し、全体として温室効果ガスを増加させる「バックファイア効果」を発生させる可能性が指摘されています（※1）。

当社ではこれまで配送時のCO<sub>2</sub>排出量の低減に努めて参りましたが、早急にバックファイア効果へ対処することが責務であると認識しています。

こうした背景から、2023年度より当社の主要なトラックが配送時に排出するCO<sub>2</sub>について、カーボンオフセットを行うことと致しました。

#### ※1（参考文献）

2021年12月15日付 国立環境研究所・東京大学工学系研究科報道発表

「サーキュラーエコノミーを脱炭素化につなげるための必須条件を解明」

（小出 瑠・南齋 規介・村上 進亮）

## 2. 当社グループの事業活動における脱炭素への取り組み

当社グループは 2022 年にマテリアリティを策定し、「事業活動により排出される CO<sub>2</sub> 削減で脱炭素へ貢献する」ことを掲げ、商品開発から営業、物流までをバリューチェーンとして捉え、脱炭素に向けて取り組んでおります。

### 【主な脱炭素への取り組み】

#### ① 商品開発

資源再利用のポリエステル素材の生地を使ったレンタル用 FF&E 商品を独自開発

#### ② 営業車両をガソリン車から HEV 車へ転換

営業用の車両について、順次 HEV 車への切り替えを進める計画

#### ③ 倉庫内照明の LED 化

当社グループの自社倉庫（千葉県、愛知県、福岡県）の照明を LED 化

#### ④ 自社倉庫への太陽光パネルの設置

2005 年より、自社倉庫（千葉県、愛知県、福岡県）に太陽光パネルの設置を進めており、今年末には年間 160,000 kWh の発電量に拡大する計画

#### ⑤ EV トラックの導入(※2)

コーユーレンティアと子会社で物流・配送事業を担うコーユーロジックス株式会社（代表取締役社長 長田 朋久）が、脱炭素に向けた取り組みの一環として、2023 年 2 月にレンタル商品を運搬のための EV トラックを導入

※2（関連リリース）

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/7081/tdnet/2240735/00.pdf>

以 上

### 【本リリースに関する問い合わせ】

コーユーレンティア株式会社 IR 広報室

TEL : 03-6478-9724 koho@koyou.co.jp